

研修会議Ⅲ：演習②の進め方

● 本日の午後のグループ構成

異なる立場・所属を混在し、（行政・医師会・コーディネーター等）グループ編成しています

● 【演習②】立場を越えた協働の工夫を考える

①演習②の説明（10分）

演習②の目的と進め方の説明。

②個人ワーク：自分の地域の現状診断（10分）

配布した課題シートに、重要度を記入ください。また、ご自身の立場での困りごとを付箋に書き出します。

③自己紹介・グループワーク①：現状共有と課題の深掘り（40分）

各自の個人ワーク結果を共有ください。その際、課題の背景や要因、過去の工夫した点等も交えて共有ください。

④グループワーク②：重要課題の選定（20分）

模造紙に、「重要度×緊急度マトリクス」を作成ください。優先して取り組む課題を1つに絞ってください。

⑤グループワーク③：アクションをデザインする（40分）

優先課題の、「ありたい姿、現状、背景・要因、改善策」の検討を検討します。

その上で、「重要度×取り組みやすさマトリクス」を踏まえ、短期（半年以内）・中期（1～2年）の取組を整理しましょう。

⑥全体発表（20分）

グループで話し合った内容について、複数グループより発表ください。優先課題と具体アクションを発表ください。

【演習②】課題の一覧

②個人ワーク（10分） 課題一覧に、重要度を記入してください。

課題区分1	重要＝★	課題
1)スキル・人材育成		1. リーダーシップやネットワーキングを含む関係者間の交渉・調整・合意形成に苦労している
		2. 情報収集・発信・文書表現力・説明力などが弱く、地域での説得・啓発に必要な力が不足している
		3. 医療用語の理解や、介護系出身者が医療分野で活動する際の専門用語の壁がある
		4. 住民や多職種への情報提供が不足しており、相談窓口の認知度が低い
		5. スーパーバイザー・メンター・横のネットワークの活用が不十分（孤立しやすい）
		6. 経験段階に応じたスキルアップ・ラダー制度や育成プログラムが整備されていない
		7. 企画・立案力に過大がある（自信が持てない）。
2)自治体との協働・組織運営		8. 自治体と委託先の目的共有・目指す姿の言語化が不十分。委託契約書や仕様書が形骸化している
		9. 自治体が「委託したら任せきり」になり、定期的な対話・評価・方向性調整の場がない
		10. 自治体内の担当課が分かれており、包括支援センターと在宅医療・介護連携事業の窓口が分断されている
		11. 自治体職員の異動による事業継続性の低下・情報等引き継ぎの不十分さ。プロセスの共有・改善につながらない
		12. 上司の理解不足や意向により、裁量をもって活動できないことがモチベーション低下の要因
		13. 自治体からのデータ・施策情報の提供やフィードバックが乏しい
3)団体との連携		14. 医師会以外の医療職や介護・薬局・通所系など広い職種との連携が弱い
		15. 医療側の思いが介護側に届かない、情報の非対称性がある
		16. 施設により利用しているICTツールの違いや情報共有の仕組みの未整備が連携を妨げる
		17. 二次・三次救急や病院機能の差により、地域連携の仕組みづくりが難航
4)協議会・ネットワーク運営		18. 在宅医療に関心の薄い医師・事業者をどう巻き込むかが課題
		19. 協議会が「報告会化」「形骸化」し、自由な議論・課題抽出が進まない
		20. 職能団体の意見が十分吸い上げられず、心理的安全性が低い場になっている
5)制度・配置体制		21. 地域課題をもとにしたPDCAや計画のアップデートが弱い
		22. コーディネーターの役割定義・評価指標が不明確で、成果が見えにくい
		23. 基幹型コーディネーターと現場のコーディネーターの役割整理が不十分
		24. 勤務状況や組織運営の差により、人材確保や継続性に課題がある
6)その他		25. 都道府県間でのデータ提供・広域調整の格差がある
		26.

【演習②】 課題の一覧を踏まえ、困りごとのエピソード

②個人ワーク（10分）

課題一覧で【★】をつけた、ご自身の立場での困りごとを書き出してください。課題一覧にはない内容でも構いません。

★困りごとを付箋に記入（課題一覧に類似する課題の場合は課題番号も記載ください）

5

経験の浅いスタッフが増え、医療・介護の両方を理解して調整できる人材が不足している

9

自治体内で在宅医療と介護の担当部署が分かれており、情報共有や合同の検討会が難しく、包括支援センターや在宅医療連携拠点との連携が滞りがち。

17

医師会に属していない開業医とつながりが持てない
一部の医師だけに負担が集中している

5

相談の場所、情報交換の場所がない
小さな困りごとを誰に相談するとよいかわからない

③グループ共有（40分）

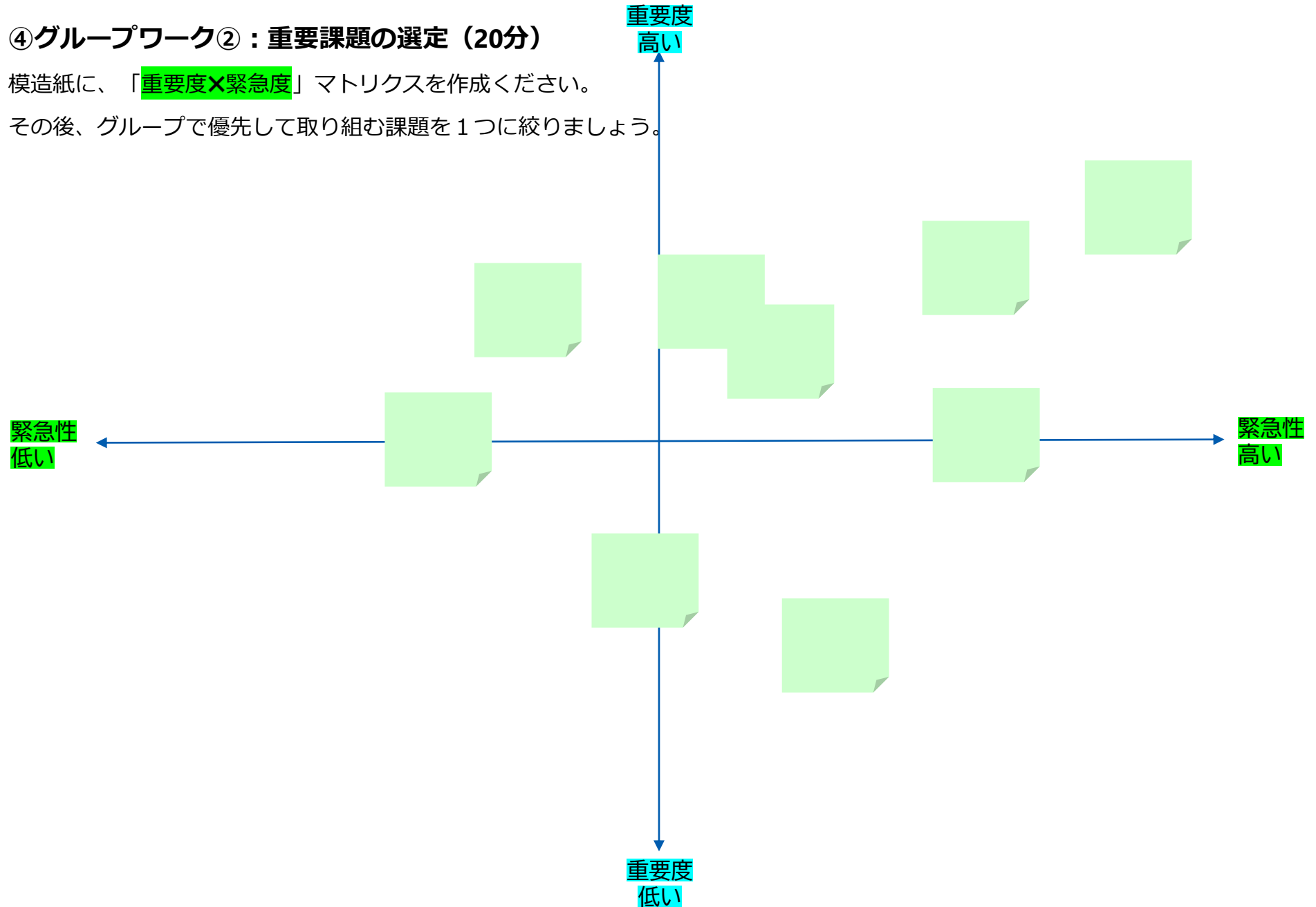
自己紹介後、各自の個人ワーク結果を共有しましょう。その際、課題の背景や要因、過去の工夫した点等も交えて共有してください。

【演習②】課題マップ（重要度×緊急度）を検討する

④グループワーク②：重要課題の選定（20分）

模造紙に、「重要度×緊急度」マトリクスを作成ください。

その後、グループで優先して取り組む課題を1つに絞りましょう。



【演習②】グループワーク③のワークシート

⑤グループワーク③：アクションをデザインする（40分）

優先課題の「①どんな姿が良い？」「②今はどうなの？」「③なぜそうなっていない？」「④こうするとよいのでは？」等、改善アイデアを発散しましょう。その上で、短期（半年以内）・中期（1~2年）のアクションを整理しましょう。

目指すべき理想の連携像		
	課題把握の体制・仕組み	行政・関係機関の協力体制
現在の状況		
課題の背景・ 要因		
解決アイデア *黄色付箋		
すぐに取り 組めること (半年以内)		
時間がかか るが取り組 めること(1 ~2年)		

【演習②】 課題解決に向けたアクションを検討する

⑤グループワーク③：アクションをデザインする（40分）

優先課題の「①どんな姿が良い？」「②今はどうなの？」「③なぜそうなのではない？」「④こうするとよいのでは？」等、改善アイデアを発散しましょう。

④の検討の際、アイデアを付箋に記入しましょう。記入後、模造紙に、「重要度×取り組みやすさ」マトリクスを作成ください。
その上で、短期（半年以内）・中期（1~2年）のアクションを整理しましょう。

